



栗東市観光協会
のサイトはこちら
から



栗東市には、まるで江戸時代から時を超えてきたかのような、趣のある建物が静かにたたずんでいます。「旧和中散本舗」。かつて全国に名を馳せた胃腸薬「わちうさん」を製造、販売していた薬屋の本舗跡です。現存する建物は、薬の製造販売だけでなく、東海道草津宿から石部宿の「間の宿」梅の木村（現在の六地藏）の小休本陣としても、多くの旅人や大名、公家が足を休めた場所です。「和中散」とは、江戸時代を代表する名薬のひとつです。旅先や日常生活での腹痛や胃もたれなどに効果があるとされ、多くの人が

■ 旧和中散本舗の特別公開（栗東市）

薬作り 人々の知恵を身近に



かつて全国に名をはせた胃腸薬を製造・販売していた「旧和中散本舗」——いずれも栗東市で

に愛用されていました。その効能の高さから徳川将軍の腹痛も治癒し、徳川家康直々に命名されたと言いつつ、代々の歩みは今もその柱や梁に刻まれ、歴史の重みと、薬を製造していた人々の志が伝わってきます。旅人たちや庶民の健康を支えてき



木製動輪の直径が4尺に及ぶ「人車製薬機」

のほか、薬を調合した道具や帳簿、看板などが残っており、薬作りに懸けた人々の暮らしや知恵を身近に感じることが出来ます。現在は、春と秋に特別公開しており、国指定名勝の大角氏庭園も見られます。例年多くの方々が歴史に思いを寄せ、その美しさを堪能されます。希望すれば、地元ガイドによる解説も受けられます。薬の歴史だけでなく、地域の文化にも触れることが出来ます。日常の喧騒から離れ、静かに流れる時間の中で、かつての薬屋の仕事や思い、徳川家にも重宝されたと伝わる「知の遺産」に思いを馳せてみませんか？ 旧和中散本舗は、ただの歴史的建物ではなく、地域の人々



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【アクセス情報など】JR手原駅から旧東海道を歩くと25分。手原駅からバスだと8分（片道大人200円、小学生100円）。名神高速道路栗東インターチェンジから車で10分。「秋の特別公開」は9月20、23日。開館時間は午前10時～午後4時（最終受付は午後3時半）。入館料は高校生以上500円、小中学生200円。

が未来に伝えたい「知恵」と「温かさ」が、今も根付いているのです。（栗東市観光協会・加藤大雅）